

COVER STORY

教師と生徒の肖像

生徒と共にやり切る

表紙の学校 福井県立美方高校 橋本有司先生



模擬面接を「検定方式」で行う福井県立美方高校。第1段階は担任、第2段階は進路指導部教員、第3段階は学年主任で、それぞれ合格しなければ次には進めない。最終段階は進路指導部長の橋本有司先生だ。推薦・AO入試、就職の希望者全員が受けるため、延べ数百回の面接を行うが、先生は安易に合格を出さない。「1人でも多くの生徒に希望進路を実現してほしい。その願いと責任があるからです」。制服のボタンが外れていたら、入室時に即「やり直し」。生徒自身にその理由に気付かせるため、先生は何も言わない。そして、志望理由が具体的でなければ質問攻めだ。いつから思ったのか、きっかけはあるのかなど、話をだんだん掘り下げ、自己認識が出来るように導いていく。「生徒は皆、思いを持っていて、それを引き出すのが私たち教師の役目。何度も繰り返すうちによく練られた内容になり、生徒の顔つきも変わっていきます」と先生は言う。

粘り強い指導は学習面においても同じだ。6月には模試E判定指導を行い、安易に希望を下げする必要はなく、これからの過ごし方が大事であることを訴えた。生徒にそれまでの家庭学習を見直させ、各教科の教師に相談した上で、今後の家庭学習の計画を考えて提出させた。「自分で決めた目標に向け、全力を尽くしてやり切るという経験をしていれば、粘り強さや諦めない気持ち、もし駄目だったとしても次につなげようとする意識に結び付くと思うのです」と願いを込める。

生徒もその思いを受け止める。「最後までやり切るとか、当たり前だけど大事なことをいつも言ってくれる」「受験生として持つべき志を示してくれ、心強く感じる」と生徒たち。入試本番まであと数か月。今年も先生は、生徒たちに寄り添い、最後まで一緒に走り切る。

VIEW21

ビュー21 高校版 Volume3 2014年8月号

2014年8月23日発行/通巻第347号 発行人 山崎昌樹 編集人 春名啓紀 発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所 ©Benesse Corporation 2014

お客様
サービスセンター

[フリーダイヤル] 0120-350455

受付時間 月～金 8:00～19:00/土 8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17